

# 平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立大庭小学校)

## (1) 学力調査結果から見られた傾向

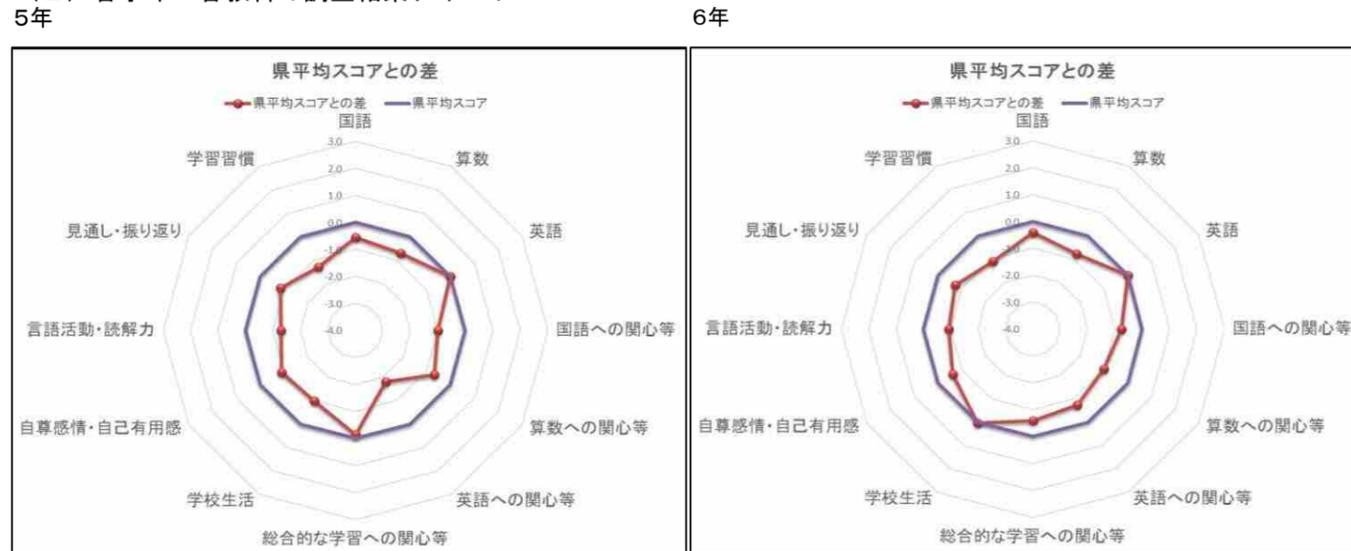
		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○「書く、読む」に関しては、他の領域と比較して正解率がやや高い。 ●ローマ字の問題で正解率が極端に低い。また漢字の一部に正答率の低い問題がある。	・漢字オリンピックやローマ字のテスト等を使って、個々の躰きを把握し、苦手を克服するために適切な支援をしていく。 ・国語以外の教科の時間にも、授業中に積極的に既習の漢字やローマ字を使っていく機会を作る。
	算数	○他の領域に比べて、図形領域の正答率が高い。 ●全ての領域が県平均を下回っており、無回答率も高い。特に小数の計算の意味を理解できていない。	・まず基礎となる計算の能力が上がるよう、既習内容を練習するプリントを作成し、家庭学習やHUT(帯時間)の繰り返しの計算練習を定着させていく。 ・プリントやテスト等から個々の児童の能力の把握に努め、授業では、TTや習熟度別の学習形態を生かしながら、個別支援をしていく。
6年	国語	○他の領域と比べて「読む」の正解率が高くなっている。 ●ローマ字の問題で正解率が極端に低い。また漢字の一部に正答率の低い問題がある。	・漢字オリンピックの結果等を生かして、個別の支援が必要な児童をつかみ、間違えた字は覚えるまで何度も繰り返し練習するようにする。 ・国語以外の教科の時間にも、積極的に授業の中で既習の漢字やローマ字を使っていく機会を作る。
	算数	○他の設問形態に比べて、記述式の問題の正解率が高い。 ●全ての領域で県平均を大きく下回っている。特に基礎となる計算の問題の正解率が低い。	・計算オリンピックに前学年の内容も入れていくことで、技能が定着していない計算問題についても、振り返りながら取り組めるようにする。 ・授業では、6年間のまとめの単元を使い、既習事項の振り返りを行うとともに、個々の躰きを再確認し、個別に支援をしていく。

## (3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○めあてがきちんと示されており、話し合い活動も十分に行われている。 ●学校図書館を利用して行う学習に関して肯定的な回答を示す数値が低くなっている。	・学校図書館を利用した学習を様々な教科で計画的に取り入れていく。また、図書館司書の先生と協力しながら効果的な活用する方法、正しい調べ方について指導していく。 ・図書館利用の目的が明確化するよう、調べたことをアウトプットできる機会を積極的に作っていく。
	家庭学習に関わる事項	○携帯電話やスマートフォンを使っている時間、ゲームをしている時間は多くない。 ●家庭での学習時間が少なく、特に、授業の復習をしていると答えた児童が少なくない。また、宿題の習慣も定着していない。	・家庭での学習習慣が身に着くよう、保護者の方とも連携をとりながら、繰り返し指導していく。まずは、宿題をやらないままにならないように継続的に声かけをしていく。
6年	授業改善に関わる事項	○授業の中で発表の機会が十分与えられており、話し合い活動もしっかり行われている。 ●調べ学習に対して、肯定的な回答をしている児童が少なくない。	・授業の場面、また、それ以外の場面でも様々な資料に触れる機会を作る。また調べ学習の方法を正しく指導することで、苦手意識をなくしていく。また、調べた成果を発表する相手を明確にすることで、児童の意欲を引き出す。
	家庭学習に関わる事項	○家で予習をしている児童に比べて、復習をしていると回答した児童が多い。 ●宿題をきちんとしている児童の数値が低く、家庭での学習時間、読書の時間が少ない。	・お勤めの本紹介や1年生との交流読み聞かせ等の場面を生かし、本に対する興味・関心を高めるようにする。さらに、本の借り換えの時間を計画的にとり、読書習慣が定着するようにする。 ・宿題に関しては、保護者の方に児童の様子を伝えながら、協力して継続的に声かけをする。

## (2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	54	39
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数  
5年生 79人

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	60	42
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数  
6年生 74人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

## (4) 生活・学習に関する意識調査の結果

